

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

岐阜県立土岐商業高等学校

学校番号 48

1 学校教育目標 (略「学校経営」参照)

2	評価する領域・分野	生徒指導部	
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 「高校生としての身だしなみ・マナー指導、規範意識を身に付けさせる指導」が生徒及び保護者に理解されている。 生徒が安全安心に登下校し学校生活が送れるよう交通事故、不審者対策、情報モラルに対して現状理解と情報の共有に努め、生徒が毎日安全安心に過ごせるよう関係機関との連携を図る。 	
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の規範意識の高揚と問題行動の未然防止。 生徒の安全確保を最優先に考え、生命を尊重する態度の育成。 教育相談の充実と全職員による生徒理解の深化。 	
5	重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> HRや集会・放送などを通じ、常にモラルやマナーについて呼び掛け、MSリーダーズや生徒会、委員会活動を活用し、生徒同士の働きかけによって問題意識を深める。 全職員、育友会、MSリーダーズ、生徒会が連携して交通安全指導のみならず事故防止に努める。 教育相談担当者会議（教育相談係・学年教育相談担当者・生徒指導部長・養護教諭）を週一回実施し情報収集と共有に努め即座に対応している。 	
6	目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 隔月1回の身だしなみ指導。毎朝、校門、昇降口で実施されている挨拶・遅刻指導。情報モラル・薬物乱用防止等の講話実施。 (2) 交通安全講話、学年集会、交通安全に関するLHRの実施。職員による月2回通学路での交通安全指導。MSリーダーズによる5・9・2月の土岐商交通安全強化月間。職員による登校坂下での下校指導。 (3) ハイパーQU、年3回の教育相談アンケートの実施と部活動でのいじめ調査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 身だしなみ再指導者は昨年度より若干減少。不注意による遅刻者数は昨年度並み。情報モラル違反に対する指導件数は減少した。 (2) 交通事故件数の減少、登下校マナーに対する苦情増加。 (3) アンケート調査の中からクラス、部活動内のいじめを発見し、担任、顧問と連携しながら情報収集、指導する。 	
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
	<ul style="list-style-type: none"> 全校一斉または学年による身だしなみ指導。生徒指導部による身だしなみ再指導。 1月、LHRで交通安全について学年毎のテーマで実施。 5月、ハイパーQUの実施。年3回の教育相談アンケート、教育相談担当者会議でいじめや迷惑調査を実施し生徒の小さな変化を見逃さない 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 身だしなみ再指導者数、遅刻者数。 (2) 交通事故減少、交通マナーに対する苦情増加。 (3) アンケートや迷惑調査結果に対して教育相談担当者を中心に迅速に対応。 	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p>
11	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故の件数は、減少傾向である。昨年度17件あったが、今年度は13件と若干減少したが自損事故がまだ多い。登下校の交通マナーを徹底させたい。 ●不注意による遅刻者数が昨年より減少していたが、0を目指したい。 ○学校内外での身だしなみ・挨拶を徹底させる。 ○教育相談アンケートに頼るだけでなく、毎週の教育相談担当者会議の学年からの報告等で、生徒の変化を早期発見し、対応している。 	
12	来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> (1) 昨年より1年生オリエンテーションで新入生全員対象に行っていた生徒指導部講話をクラス毎に変更し校則だけでなく通学路の危険個所、交通ルール、マナーも徹底させることを継続する。また情報モラル講話を取り入れ新学期からスマートフォン等を正しく活用できる環境を整える。 (2) 身だしなみ違反が若干減少したが、隔月程度による全校一斉指導を行う中で生徒に自覚を持たせ自ら律する態度を育てたい。またチェックを受けた者だけを次回の全校一斉指導まで継続指導する形態で生徒に自覚を持たせる指導の継続実施をする。 (3) 制服がジェンダーレス化に対応したので、職員、生徒にアンケート調査を行い改善すべきところは翌年から取り入れる。 	

総合評価

A (B) C D